

平成25年度 学校評価

本校は、「一人ひとりを大切に、生きる力を育む」を教育目標に全教育活動にて生徒を育成しています。具体的な取り組みは

- ①自分と他人を大切にす豊かな心を育てる。 ②確かな学力を身につけさせる ③良い生活習慣を身につけさせ、心身共に健康な生徒を育てる。

学校教育に関する重点取組

1 教育・学習内容を充実させ、確かな学力を身につけさせる

評価内容	評価Ⅰ	具体的な取組	成果・課題	評価Ⅱ	改善策
(1)授業の改善に取り組み、学力向上を推進する		<ul style="list-style-type: none"> ・教科部会の活性化と新学習システム、指導補助員の効果的な活用を図る。 ・朝学習と6校時後の答え合わせ学習時間の設定により基礎学力の向上を図る。 ・校区内の小学校の授業参観及び出前授業を実施するとともに合同の職員研修を行うことにより、9年間で育てていくという意識の醸成を図る。 ・水曜日放課後、定期テスト前、夏季休業中等による学習支援により家庭学習の定着へ繋げる。 ・特別支援コーディネーターを中心とした校内委員会及び学年部会で情報交換を行い共通理解を図る。 			
(2)校種間の連携に取り組み、滑らかな成長を推進する					
(3)特別支援教育の充実に取り組み、自立や社会参加に向けた主体性を育成する					

2 心の教育を充実させ、自己実現の意識の高揚を図る

評価内容	評価Ⅰ	具体的な取組	成果・課題	評価Ⅱ	改善策
(1)道徳性の涵養に取り組み、良好な人間関係づくりに努める		<ul style="list-style-type: none"> ・年間指導計画に基づいた道徳の時間の充実。 ・人権講演会や福祉体験等を通じて人権感覚を育む。 ・日常的な訪問、懇談により家庭と協力しながら基本的生活習慣の確立を図る。 ・インターネットや携帯電話の使用にあたってのモラルや危険性等について学級活動、講演会等を通じて指導を行う。 ・生徒向き合う時間確保のために業務改善をより一層進める。 ・年2回の教育相談活動を実施する。不登校担当教員を中心に課題を有する生徒の共通理解を深め、カウンセラー、関係機関と保護者との連携を図る。 ・自己実現のために主体的な進路選択ができるよう3年計画で進路指導を行う。進路通信の発行やトライやるウィークの活用。 			
(2)基本的な生活習慣の確立に取り組み、問題行動の未然防止を図る					
(3)相談体制の充実に取り組み、不適応行動への早期対応及び長期欠席の抑止・改善を図る					
(4)進路指導の充実に取り組み、社会的自立に必要な能力を育成する					

3 食育や体育を充実させ、健康な体づくりに取り組む

評価内容	評価Ⅰ	具体的な取組	成果・課題	評価Ⅱ	改善策
(1)食育を通じた生活改善に取り組み、望ましい生活習慣を育成する		<ul style="list-style-type: none"> ・家庭科や昼食指導など教育活動全体を通して、食習慣の安定を図る。 ・保健たよりや保護者懇談会、集会等で「早寝、早起き、朝ごはん」の啓発活動を行い、保護者の協力を求める。 ・教科体育と体育的行事をより一層充実させ、全教職員で取り組み体制の確立を図る。 ・スポーツテストの結果を活用すると共に自ら体力づくりに励む態度を育成する。 ・クラブ通信や外部指導者の活用等に寄り、部活動の活性化を図る。 			
(2)体育・スポーツ活動の充実に取り組み、体力・運動能力の向上に努める					

4 安全な教育環境を確保し、防災意識の高揚を図る

評価内容	評価Ⅰ	具体的な取組	成果・課題	評価Ⅱ	改善策
(1)安全教育の充実に取り組み、登下校及び校内の安全確保に努める		<ul style="list-style-type: none"> ・学校周辺までの登校指導の実施。危機回避や遭遇時の事前指導の徹底。関係帰化との連携を図る。 ・朝礼や集会、学活での安全指導の実施。 ・通学路や校内の安全点家の実施。 ・防災マニュアルの利用と火災、地震(津波)を想定した防災訓練の実施。 ・関係機関の協力の下、交通安全(特に自転車)教室の実施。 			
(2)防災教育の充実に取り組み、危機管理能力の向上に努める					

5 家庭・地域・学校の連携を深め、信頼され、活力に満ちた学校園づくりに取り組む

評価内容	評価Ⅰ	具体的な取組	成果・課題	評価Ⅱ	改善策
(1)地域資源の活用に取り組み、開かれた学校園づくりに努める		<ul style="list-style-type: none"> ・教育活動の公開や、学級、学年、学校、クラブたより、ホームページ、PTAメール配信を通じて、情報発信に努める。 ・学校評価の公開とともに一層の改善を図る。 ・校内職員研修の充実に努める。 ・夏季休業中に個別面談を実施し、教育活動の点検をすると共に経営参加意欲の向上を図る。 ・各種教育情報の提供と研修会、研究会の参加奨励を行う。 ・経験10年程度及び若手教員についての研修会を実施する。 ・20年目以上経験者については、自らの経験を伝承する機会を設ける。 			
(2)学校評価の活用に取り組み、学校運営の改善を図る					
(3)教職員の資質向上に取り組み、学校の組織力向上に努める					

教育目標

評価内容	評価Ⅰ	具体的な取組	成果・課題	評価Ⅱ	改善策
(1)教育目標の達成に向けた充実した教育活動の展開		<ul style="list-style-type: none"> ・朝礼等の機会を通じて生徒に具体的な目標の意識付けを図り、全職員が協力して取り組む。 ・学校便りや保護者会の場において、教育目標を示し、保護者の協力を得られるよう働きかける。 			
(2)教育目標の具現化と指導の充実					

研究テーマ

評価内容	評価Ⅰ	具体的な取組	成果・課題	評価Ⅱ	改善策
(1)研究テーマの達成に向けた充実した教育活動の展開		<ul style="list-style-type: none"> ・研究推進委員会を定期的に開き、研究テーマの共通理解や方策を検討し全教職員の協働体制の確立を図る。 ・「自ら学ぶ意欲をもたせる」ために「わかりやすい授業の工夫」を各教科部会で研究するとともに、「家庭学習の充実」への協力を保護者に依頼するための広報活動を充実させる。 			
(2)研究テーマの具現化と指導の充実					